

職業実践専門課程の基本情報について

| | | | | | | |
|------------------|---|-------------|--|-----------------------|--|----------|
| 学 校 名 | 設置認可年月日 | 校 長 名 | 所 在 地 | | | |
| 日本工学院 北海道専門学校 | 昭和56年 9月25日 | 加藤和美 | 〒059-8601 北海道登別市札内町184-3 (電話) 0143-88-0888 | | | |
| 設 置 者 名 | 設立認可年月日 | 代 表 者 名 | 所 在 地 | | | |
| 学校法人 片柳学園 | 昭和31年 7月10日 | 片柳 鴻 | 〒144-8650 東京都大田区西蒲田5-23-22 (電話) 03-6424-1111 | | | |
| 目 的 | 施術の枠組みと理論、技術を伝統医療の領域から習得し、医療陣としての幅を広げ、患者の施術はもちろん、スポーツ領域やリハビリテーションなど、社会の多様化するニーズに対応できる能力を学ぶ。 | | | | | |
| 分野 | 課程名 | 学科名 | 修業年限 (昼、夜別) | 全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数 | 専門士の付与 | 高度専門士の付与 |
| 医療 | 医療専門課程 | 柔道整復科 | 3年(昼間) | 100単位 2040時間 | 平成17年3月3日 文部科学省告示 第30号 | — |
| 教育課程 | 講義 | 演習 | 実験 | 実習 | 実技 | |
| | 99単位 1485時間 | 1単位 45時間 | — | 6単位 180時間 | 24単位 720時間 | |
| 生徒総定員 | 生徒実員 | 専任教員数 | 兼任教員数 | 総教員数 | | |
| 90人 | 59人 | 5人 | 9人 | 14人 | | |
| 学期制度 | ■前期：4月1日～9月27日 ■後期：9月28日～3月31日 | | | 成績評価 | ■成績表 (有・無) ■成績評価の基準・方法について 試験等による(学則23条) | |
| 長期休み | ■学年始め：4月1日 ■夏 季：7月22日 ■冬 季：12月21日 ■学 年 末：3月23日 | | | 卒業・進級条件 | 進級 実施された授業時数の4/5以上出席 実技・実習教科の単位を全て修得 未取得2科目以内 卒業 2040時間以上出席 100単位以上の取得 | |
| 生徒指導 | ■クラス担任制 (有・無) ■長期欠席者への指導等の対応 担任・教務から本人、保護者へ 連絡、相談。学校カウンセラーによる カウンセリングなど。 | | | 課外活動 | ■課外活動の種類 ボランティア活動 ■サークル活動 (有・無) | |

| | | | |
|---------|--|---------|--------------------------|
| 就職等の状況 | ■主な就職先、業界等 接骨院・病院・福祉施設 ■就職率^{※1} 100% ■卒業者に占める就職者の割合^{※2} 78.5% ■その他（任意） （平成27年度卒業者に関する平成28年5月時点の情報） | 主な資格・検定 | 柔道整復師 JATI認定トレーニング指導者 |
| 中途退学の現状 | ■中途退学者 4名 ■中退率 6.7% 平成27年5月 1日在学者 59名（平成27年4月入学者を含む） 平成28年3月31日在学者 55名（平成28年3月卒業生を含む） ■中途退学の主な理由 他学校への入学・就職による進路変更 ■中退防止のための取組 担任を含めた学科内教員による面談とスクールカウンセラーによる面談 | | |
| ホームページ | URL: http://www.nkhs.ac.jp/ | | |

※1 「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」の定義による。

- ① 「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとする。
- ② 「就職率」における「就職者」とは、正規の職員（1年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者（企業等から採用通知などが出された者）をいう。
- ③ 「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

※ 「就職（内定）状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。

※2 「学校基本調査」の定義による。

全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない（就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。）

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

- ・柔道整復科に係る就職先の動向について知見の深い企業、役員、職員を交え、授業科目・授業内容・授業方法等、教育課程に対する意見等を収集する。
- ・教育課程編成委員会で出された意見等を反映し、学生が実務に関する知識、技術を習得できる環境を構築するよう努力する。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成 29 年 2 月 1 日現在

| 名 前 | 所 属 |
|-------|---------------------------|
| 相澤 彰 | 日本工学院北海道専門学校 教務課長 |
| 富永 史人 | 日本工学院北海道専門学校 教育部 柔道整復科 |
| 吉野 匠 | 日本工学院北海道専門学校 教育部 柔道整復科 |
| 橋井 健佑 | 日本工学院北海道専門学校 教育部 柔道整復科 |
| 内藤 繁 | 社会福祉法人 登別市社会福祉協議会 常務理事 |
| 木村 祥生 | 山本産業株式会社 きたえる一む登別 機能訓練指導員 |

(開催日時)

- 27 年度 第 1 回 平成 27 年 7 月 15 日 18:00～19:00
27 年度 第 2 回 平成 27 年 11 月 4 日 18:00～19:00
28 年度 第 1 回 平成 28 年 8 月 19 日 18:00～19:00
28 年度 第 2 回 平成 28 年 10 月 21 日 18:00～19:00

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

- ・機能訓練専門デイサービス企業から連携企業を選択。
- ・連携企業からのアドバイスを受け、講義、実習を構築。
- ・柔道整復師が機能訓練指導員として介護、福祉の分野に参加する上で必要な知識、技術を得るための講義、実習を行うことを目的とする。

| 科 目 名 | 科 目 概 要 | 連 携 企 業 等 |
|---------|--|----------------|
| 臨床演習・実習 | 機能訓練指導員としての知識、機能訓練につながる運動療法についての知識を学ぶ。 | 山本産業株式会社きたえる一む |

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

教員のスキル向上のため以下の研修を開催または、必要に応じて外部研修への参加を行う。

- ・実践的かつ専門的な知識・技術を習得するための研修、指導力の修得・向上のための研修

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成 29 年 2 月 1 日現在

| 名 前 | 所 属 |
|------|---------------------------|
| 野崎 均 | 登別市教育委員会 |
| 木村義恭 | 登別商工会議所会頭 |
| 伊藤義幸 | 校友会副会長/ オフィスマシン販売株式会社営業課長 |
| 川田弘教 | 川田自動車工業株式会社代表取締役 |
| 山田正幸 | 地域代表/登別市連合町内会会長 |
| 吉田武史 | 有限会社貴泉堂取締役 |
| 芳川 諭 | 学生の保護者 |

(学校関係者評価結果の公表方法) ホームページ URL: <http://www.nkhs.ac.jp/news/disclosure/index.html>

5. 情報提供

(情報提供の方法) ホームページ URL: <http://www.nkhs.ac.jp/news/disclosure/index.html>

授業科目等の概要

| (医療専門課程柔道整復科) 平成 27 年度 | | | | | | | | | | |
|------------------------|------------------|------------------|--------|---|------------|----------|-------------|--------|--------|--------------------------------------|
| 分類 | | | 授業科目名 | 授業科目概要 | 配当年次・学期 | 授業 時数 | 単 位 数 | 授業方法 | | |
| 必 修 | 選 択 必 修 | 自 由 選 択 | | | | | | 講 義 | 演 習 | 実 験 ・ 実 習 ・ 実 技 |
| ○ | | | 情報科学1 | 情報処理リテラシー教育としてのワープロ、表計算についてや、インターネットを使った医療情報の収集などを学びます。 | 1・前 | 30 | 2 | ○ | | |
| ○ | | | 情報科学2 | 情報処理リテラシー教育としてのワープロ、表計算についてや、インターネットを使った医療情報の収集などを学びます。 | 1・後 | 30 | 2 | ○ | | |
| ○ | | | 時事教養 | 政治・社会・文化・法律など、各領域の時事的問題を中心に学びます。 | 1・前 | 30 | 2 | ○ | | |
| ○ | | | 心理学 | スポーツ心理学を「競技と健康」の2側面から捉え、必要とされる心理的スキルや心理的要因について理解を深める。 | 1・後 | 30 | 2 | ○ | | |
| ○ | | | 保健体育 | スポーツ各種目の特性に触れ、効果的な練習方法の学習などを理解し、協力・責任などの態度を育てるとともに、体育活動を実践する姿勢を養う。 | 1・前 | 30 | 2 | ○ | | |
| ○ | | | スポーツ概論 | スポーツを通して健康を維持・増進させるのに必要な知識を養う。 | 1・後 | 30 | 2 | ○ | | |
| ○ | | | 英会話 | 日常英会話、医療現場でのマナーを取上げ学びます。 | 1・前 | 30 | 2 | ○ | | |
| ○ | | | 解剖学1 | 人体の仕組みと成り立ちを学ぶ学問であり、疾病の原因、またその治療に当たる人にはなくてはならない学問です。各器官を系統立てて学びます。筋骨格系解剖学では人体の骨格・筋・神経について学び、人体の基本構造を学びます。 | 1・前 | 45 | 3 | ○ | | |
| ○ | | | 解剖学2 | 人体の仕組みと成り立ちを学ぶ学問であり、疾病の原因、またその治療に当たる人にはなくてはならない学問です。各器官を系統立てて学びます。筋骨格系解剖学では人体の骨格・筋・神経について学び、人体の基本構造を学びます。 | 1・後 | 45 | 3 | ○ | | |
| 合計 | | | | 科目 | 単位時間 (単位) | | | | | |

授業科目等の概要

| (医療専門課程柔道整復科) 平成 27 年度 | | | | | | | | | | |
|------------------------|------------------|------------------|-----------|---|---------|------------|-------------|--------|--------|--------------------------------------|
| 分類 | | | 授業科目名 | 授業科目概要 | 配当年次・学期 | 授業 時数 | 単 位 数 | 授業方法 | | |
| 必 修 | 選 択 必 修 | 自 由 選 択 | | | | | | 講 義 | 演 習 | 実 験 ・ 実 習 ・ 実 技 |
| ○ | | | 生理学 1 | 人体の生命活動に必要な細胞等の役割を理解し、人体の基礎的生理学を学びます。正常な人体に見られる生命現象を基礎から学びます。 | 1・前 | 45 | 3 | ○ | | |
| ○ | | | 生理学 2 | 人体の生命活動に必要な細胞等の役割を理解し、人体の基礎的生理学を学びます。正常な人体に見られる生命現象を基礎から学びます。 | 1・後 | 30 | 2 | ○ | | |
| ○ | | | 柔道 1 | 柔道を通じ礼法を学び、基礎体力を養います。 | 1・前 | 30 | 1 | | | ○ |
| ○ | | | 柔道 2 | 柔道を通じ礼法を学び、基礎体力を養います。 | 1・後 | 30 | 1 | | | ○ |
| ○ | | | 基礎柔道整復学総論 | 柔道整復技術の基礎を学びます。 | 1・前 | 45 | 3 | ○ | | |
| ○ | | | 基礎柔道整復学 1 | 外傷に関わる外力や損傷程度治癒過程を学び、また柔道整復治療の基礎を学びます。 | 1・前 | 45 | 3 | ○ | | |
| ○ | | | 基礎柔道整復学 2 | 外傷に関わる外力や損傷程度治癒過程を学び、また柔道整復治療の基礎を学びます。 | 1・後 | 45 | 3 | ○ | | |
| ○ | | | 柔道整復実技 1 | 包帯学や柔道整復治療に欠かせない材料の加工法や使用法の基礎を学びます。また、症例に合わせた治療法を学びます。 | 1・前 | 60 | 2 | | | ○ |
| ○ | | | 柔道整復実技 2 | 包帯学や柔道整復治療に欠かせない材料の加工法や使用法の基礎を学びます。また、症例に合わせた治療法を学びます。 | 1・後 | 60 | 2 | | | ○ |
| 合計 | | | | | 科目 | 単位時間 (単位) | | | | |

授業科目等の概要

| (医療専門課程柔道整復科) 平成 27 年度 | | | | | | | | | | |
|------------------------|------------------|------------------|-------------|---|------------|----------|-------------|--------|--------|--------------------------------------|
| 分類 | | | 授業科目名 | 授業科目概要 | 配当年次・学期 | 授業 時数 | 単 位 数 | 授業方法 | | |
| 必 修 | 選 択 必 修 | 自 由 選 択 | | | | | | 講 義 | 演 習 | 実 験 ・ 実 習 ・ 実 技 |
| ○ | | | 柔道整復実技 3 | 包帯学や柔道整復治療に欠かせない材料の加工法や使用法の基礎を学びます。また、症例に合わせての治療法を学びます。 | 1・ 前 | 30 | 1 | | | ○ |
| ○ | | | 柔道整復実技 4 | 包帯学や柔道整復治療に欠かせない材料の加工法や使用法の基礎を学びます。また、症例に合わせての治療法を学びます。 | 1・ 後 | 30 | 1 | | | ○ |
| | ○ | | 社会福祉1 | 福祉理念、福祉行政について学びます。 | 1・ 後 | 30 | 2 | ○ | | |
| | ○ | | 柔道A | 昇段試験に向けた強化練習を行います。 | 1・ 後 | 30 | 1 | | | ○ |
| ○ | | | 運動学 | 基礎力学や身体の動き、歩行のメカニズムを学びます。 | 2・ 後 | 30 | 2 | ○ | | |
| ○ | | | 病理学概論 | 疾病の成り立ちを学び、また炎症や腫瘍の基礎知識を学びます。また、各疾病の特徴を学びます。 | 2・ 前 | 30 | 2 | ○ | | |
| ○ | | | 一般臨床医学 1 | 診察の進め方や方法についての基礎知識や具体的方法を学びます。 | 2・ 前 | 30 | 2 | ○ | | |
| ○ | | | 一般臨床医学 2 | 診察の進め方や方法についての基礎知識や具体的方法を学びます。 | 2・ 後 | 30 | 2 | ○ | | |
| ○ | | | 外科学概論 | 外科的治療の基礎と具体的方法を学びます。 | 2・ 前 | 30 | 2 | ○ | | |
| 合計 | | | | 科目 | 単位時間 (単位) | | | | | |

授業科目等の概要

| (医療専門課程柔道整復科) 平成 27 年度 | | | | | | | | | | |
|------------------------|------------------|------------------|----------|---|------------|----------|-------------|--------|--------|--------------------------------------|
| 分類 | | | 授業科目名 | 授業科目概要 | 配当年次・学期 | 授業 時数 | 単 位 数 | 授業方法 | | |
| 必 修 | 選 択 必 修 | 自 由 選 択 | | | | | | 講 義 | 演 習 | 実 験 ・ 実 習 ・ 実 技 |
| ○ | | | 整形外科学 | 整形外科治療の基礎知識や代表的治療方法を学びます。 | 2・後 | 30 | 2 | ○ | | |
| ○ | | | 公衆衛生学 | 健康に生活する上で必要な知識と情報を学びます。感染症予防や消毒法についても具体的に学びます。我々の生活環境について学びます | 2・前 | 30 | 2 | ○ | | |
| ○ | | | 柔道3 | 柔道の試合が審判も含め円滑に行えるようにし、投げの形を具体的に学びます。 | 2・前 | 30 | 1 | | | ○ |
| ○ | | | 柔道4 | 柔道の試合が審判も含め円滑に行えるようにし、投げの形を具体的に学びます。 | 2・後 | 30 | 1 | | | ○ |
| ○ | | | 臨床柔道整復学1 | 部位別に具体的な外傷の成り立ちや治療方法を学びます。 | 2・前 | 60 | 4 | ○ | | |
| ○ | | | 臨床柔道整復学2 | 部位別に具体的な外傷の成り立ちや治療方法を学びます。 | 2・後 | 60 | 4 | ○ | | |
| ○ | | | 柔道整復実技5 | 部位別に具体的な外傷の整復や固定、治癒に至るまでの注意事項を学びます。 | 2・前 | 60 | 2 | | | ○ |
| ○ | | | 柔道整復実技6 | 部位別に具体的な外傷の整復や固定、治癒に至るまでの注意事項を学びます。 | 2・後 | 60 | 2 | | | ○ |
| ○ | | | 柔道整復実技7 | 部位別に具体的な外傷の整復や固定、治癒に至るまでの注意事項を学びます。 | 2・前 | 30 | 1 | | | ○ |
| 合計 | | | | 科目 | 単位時間 (単位) | | | | | |

授業科目等の概要

| (医療専門課程柔道整復科) 平成 27 年度 | | | | | | | | | | |
|------------------------|------------------|------------------|-----------------|---|---------|------------|-------------|--------|--------|--------------------------------------|
| 分類 | | | 授業科目名 | 授業科目概要 | 配当年次・学期 | 授業 時数 | 単 位 数 | 授業方法 | | |
| 必 修 | 選 択 必 修 | 自 由 選 択 | | | | | | 講 義 | 演 習 | 実 験 ・ 実 習 ・ 実 技 |
| ○ | | | 柔道整復実技 8 | 部位別に具体的な外傷の整復や固定、治癒に至るまでの注意事項を学びます。 | 2・ 後 | 30 | 1 | | | ○ |
| | ○ | | 社会福祉2 | 社会人・医療人として広くボランティア活動を行う。 | 2・ 前 | 60 | 4 | ○ | | |
| | ○ | | スポーツ障害 概論 | 運動器のスポーツによる外傷や障害の概念を理解するとともに、それらの予防、正確な判断、そして復帰までを学習していく。 | 2・ 前 | 30 | 2 | ○ | | |
| | ○ | | 基礎救急法 | 医療人としての基礎的な心肺蘇生法などの一次救命処置を修得する。 | 2・ 後 | 30 | 2 | ○ | | |
| | ○ | | 医学演習1 | 診察及び治療に関する医学的知識、検査等について学びます。 | 2・ 後 | 30 | 2 | ○ | | |
| | ○ | | 医学演習3 | 診察及び治療に関する医学的知識、検査等について学びます。 | 2・ 後 | 30 | 2 | ○ | | |
| | ○ | | 解剖整理演習 1 | 解剖学、生理学の知識をリンクし人体の働きを総合的に学びます。 | 2・ 後 | 30 | 2 | ○ | | |
| | ○ | | 柔道B | 昇段試験に向けた強化練習を行います。 | 2・ 後 | 30 | 1 | | | ○ |
| ○ | | | リハビリテー ション医学 | リハビリテーションの意味やその具体的方法を学びます。 | 3・ 前 | 30 | 2 | ○ | | |
| 合計 | | | | | 科目 | 単位時間 (単位) | | | | |

授業科目等の概要

| (医療専門課程柔道整復科) 平成 27 年度 | | | | | | | | | | |
|------------------------|------------------|------------------|----------|-------------------------------------|------------|----------|---------|--------|--------|--------------------------------------|
| 分類 | | | 授業科目名 | 授業科目概要 | 配当年次・学期 | 授業 時数 | 単 位数 | 授業方法 | | |
| 必 修 | 選 択 必 修 | 自 由 選 択 | | | | | | 講 義 | 演 習 | 実 験 ・ 実 習 ・ 実 技 |
| ○ | | | 関係法規 | 柔道整復師や医療法、また関係法規について学びます。 | 3・前 | 15 | 1 | ○ | | |
| | ○ | | 柔道5 | 柔道整復師としての柔道を仕上げます。 | 3・前 | 30 | 1 | | | ○ |
| | ○ | | 柔道6 | 柔道整復師としての柔道を仕上げます。 | 3・後 | 30 | 1 | | | ○ |
| ○ | | | 臨床柔道整復学3 | 部位別に具体的な外傷の成り立ちや治療方法を学びます。 | 3・前 | 90 | 6 | ○ | | |
| ○ | | | 柔整スポーツ医学 | スポーツ外傷や障害の成り立ち・治療方法について学びます。 | 3・前 | 30 | 2 | ○ | | |
| ○ | | | 柔道整復実技9 | 部位別に具体的な外傷の整復や国定、治癒に至るまでの注意事項を学びます。 | 3・前 | 60 | 2 | | | ○ |
| ○ | | | 柔道整復実技10 | 部位別に具体的な外傷の整復や国定、治癒に至るまでの注意事項を学びます。 | 3・前 | 30 | 1 | | | ○ |
| ○ | | | 臨床演習・実習 | 指導柔道整復師のもとで、診察、治療までの一連の流れを実習します。 | 3・前 | 45 | 1 | | ○ | |
| | ○ | | 社会福祉3 | 社会人・医療人として広くボランティア活動を行う。 | 3・前 | 60 | 4 | ○ | | |
| 合計 | | | | 科目 | 単位時間 (単位) | | | | | |

授業科目等の概要

| (医療専門課程柔道整復科) 平成 27 年度 | | | | | | | | | | |
|------------------------|------------------|------------------|-------------|--------------------------------|------------|----------|-------------|--------|--------|--------------------------------------|
| 分類 | | | 授業科目名 | 授業科目概要 | 配当年次・学期 | 授業 時数 | 単 位 数 | 授業方法 | | |
| 必 修 | 選 択 必 修 | 自 由 選 択 | | | | | | 講 義 | 演 習 | 実 験 ・ 実 習 ・ 実 技 |
| | ○ | | 海外研修 | 本学園と学術提携を結んでいる北京中医薬大学で研修を行います。 | 3・後 | 60 | 2 | | | ○ |
| | ○ | | 医療現場研修 1 | 接骨院などで柔道整復師の仕事を体験学習します。 | 3・前 | 60 | 2 | | | ○ |
| | ○ | | 医療現場研修 2 | 接骨院などで柔道整復師の仕事を体験学習します。 | 3・後 | 60 | 2 | | | ○ |
| | ○ | | 解剖生理演習 2 | 解剖生理学を統括し理解を深め、試験対策をします。 | 3・前 | 30 | 2 | ○ | | |
| | ○ | | 解剖生理演習 3 | 解剖生理学を統括し理解を深め、試験対策をします。 | 3・後 | 30 | 2 | ○ | | |
| | ○ | | 医学演習 2 | 基礎医学分野を統括し理解を深め、試験対策をします。 | 3・前 | 30 | 2 | ○ | | |
| | ○ | | 医学演習 4 | 基礎医学分野を統括し理解を深め、試験対策をします。 | 3・後 | 30 | 2 | ○ | | |
| | ○ | | 柔整医学演習 1 | 柔整専門分野を統括し理解を深め、試験対策をします。 | 3・前 | 30 | 2 | ○ | | |
| | ○ | | 柔整医学演習 2 | 柔整専門分野を統括し理解を深め、試験対策をします。 | 3・前 | 30 | 2 | ○ | | |
| 合計 | | | | 科目 | 単位時間 (単位) | | | | | |

授業科目等の概要

| (医療専門課程柔道整復科) 平成 27 年度 | | | | | | | | | | |
|------------------------|------------------|------------------|-------------|---------------------------|---------|------------------|-------------|--------|--------|--------------------------------------|
| 分類 | | | 授業科目名 | 授業科目概要 | 配当年次・学期 | 授業 時数 | 単 位 数 | 授業方法 | | |
| 必 修 | 選 択 必 修 | 自 由 選 択 | | | | | | 講 義 | 演 習 | 実 験 ・ 実 習 ・ 実 技 |
| | ○ | | 柔整医学演習 3 | 柔整専門分野を統括し理解を深め、試験対策をします。 | 3・ 後 | 30 | 2 | ○ | | |
| | ○ | | 柔道C | 昇段試験に向けた強化練習を行います。 | 3・ 後 | 30 | 1 | | | ○ |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| 合計 | | | | | 65 科目 | 2430 時間(130 単位) | | | | |